

- 1、題目は、行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は、行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず二字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

最高の思い出く二つの滝

岳南中学校 二年 笹川 稟

七月二十七日。僕は、青森との交換留学を
 していた。その日は一日フリーだったの
 僕は栗生の大川の滝に連れて行った。大川の
 滝は何度も行ったことがあるの、僕にと
 ては珍しくないが、彼にとつては良い思い出
 になつたと思う。

話は変わるが、僕は七月二十五日から二十
 九日の間、青森との交換留学を受けることに

中学校

した。五月間に及ぶけれども、夏休みの思い
 出づくりのためにもと思い、受けることにし
 た。だいたいプログラムが決まっていた中で
 の、活動をした。
 二十六日は、屋久島を一周しながらの活動
 だった。そして二十七日は一日フリーの日
 だった。午前中は何もすることがない。たの
 んで、父が大川の滝に行こうか。
 と言い出した。僕は、遠かったの、いやだ

No.

(不評複製)

5、読みやすいように、一文字をしっかりとつけましょう。と、と、と、それぞれ一字にかきえて、マスのなかの右側のほうにつけましょう。
 6、人が話したところは、一文字のなかに入れましょう。一文字は、それぞれ一字にかきえてマスのなかに入れてください。
 7、漢字やかなづかいに気を付けて、特に「は」と「わ」を「へ」と「わ」と「え」と「を」と「を」を、しっかりと使い分けましょう。
 8、書き終わったなら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たがいないことを確認し、おきな、おきな、おきなをけずりましょう。



1. 題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3. 文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず、一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

なしと思っただ。しかし、青森にはないと思っ
たので行くことにした。彼は、大川の滝に来
た瞬間にたくさん写真を撮った。僕はつい、
「どう、きれいでしょう。」
と聞いた。すると彼は、滝に夢中だった。僕
は、もっと近くで見せたくなった。そして、
たくさん写真を撮った。彼にとって、は、とて
も良い思い出になったと思う。

いままでは、家族と大川の滝に行っていた
だけだが、今回は青森の友達と一緒に大川の
中学校

滝に行ったたので、長い時間、大川の滝に
いることができた。
青森の人々にとっては、近くに滝などか
なく、滝を近くで見るということは、す
ごく羨ましいことだと思ふ。
そして、僕たちは千尋の滝にも行った。
千尋の滝は、大川の滝と違って間近で見
ることができないので少し悲しい気分にも
なる。でも、青森から来た彼は滝を見
ることも感動していた。父が

(不許複製)

5. 読みやすいように、と、とをしっかりとつけましょう。と、とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右左のほうにつけましょう。
6. 人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
8. 書き終わったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないところは書き足しましょう。



- 1、題目は、一行の三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう
- 2、学校・学年・組・氏名は、行めに書きましょう
- 3、文章は三行めから一字空けて書きはじめましょう
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字空けて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう

（ ） 月 日 曜日

「そろそろ帰ろうかい。」
 と、言った。だが彼は、帰ろうとする気がしなかつた。だから、記念に写真を何枚か撮った。彼にとってには、とても良い思い出になった。と思う。僕にとっては、夏の最高の思い出になった。僕はこの二日間で、たくさん自然とふれ合ったと思う。いままでは、大川の滝や千尋の滝で、長時間いることはなかった。なので、思い出がたくさんできました。

中学校

いままでは、こんなにも大川の滝と千尋の滝に感動したことはなかった。いつもよりも、滝の音や、流れる速さが少し違うように感じた。そして、近くで見る滝もとても美しく、とても魅力を感じた。僕にとっては、この二日間で夏休み前の良い思い出になった。彼にとっては、身近に自然とふれ合うことは、なかった。大川の滝は近くで良い経験になったと思う。大川の滝は近くでみられて、滝の冷たさを感じられたし、近

No.

- 5、読みやすいように、と、とをしっかりとつけましょう、と、とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右側のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「い」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使い分けましょう。
- 8、書き終わった後、何回も読み直し、まちがいをなおして、たらないことはをおささない、むだなことをおさげずしましょう。

(不許複製)



1. 題目は、「行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。」
2. 学校・学年・組・氏名は、「行めに書きましょう。」
3. 文章は「行めから」字さげて書きはじめましょう。
4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず「字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったならば行を変えましょう。」

() 月 日 曜日

もあり、感動したと思う。千尋の滝は、少し遠くからしか見れなかつたが、おもしろい格好で写真を撮ることも撮ることもできませんでした。滝の音や、迫力はあまり感じなかつたが、どちらとも良い一日になったと思う。

この二日間、屋久島の自然にたくさんふれ合った。友達もたくさんでき、めつたになん企画に参加することもできました。大川の滝と千尋の滝も満喫することもできました。もし、親の誘いもなく、この交換留学という企画に応募

中学校

していなかつたら、こんなにも屋久島の自然にふれ合ったり、大川の滝と千尋の滝の魅力を感じることがなかつたし、行こうともしなかつた。

屋久島だからこそ、自然がたくさんあり、間近にある神秘的な滝を見ることで、自然の大切さを分かつてくれたと思う。だから、僕にとっては、彼にとっても、最高の思い出になつた。

No.

5. 読みやすいように、「と」をしっかりとつけましょう、「と」は、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右左のほうにつけましょう。
6. 人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「は」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
8. 書き終わった後、何回も読み直し、まちがいをなおして、たらないことをおぼえ、むだなことをけずりましょう。

(下 評複製)

